



中学生の意見を区政に反映します ～「練馬子ども議会」本会議を開催～

と き 8月1日(木) 午後2時～4時 ところ 練馬区役所西庁舎 議場 (豊玉北6-12-1)

1日、区内の中学生51人が子ども議員として参加する「練馬子ども議会」本会議が練馬区議会議場で開催された。子ども議員は、3～7人ずつの10グループに分かれ、「防災資源の周知について」「今後の公園のあり方について」などのテーマで発言し、それに対して、志村 豊志郎区長や区幹部職員が答弁を行った。



子ども議会は、子どもたちが日ごろ疑問に思っていることや希望などを区が聞き取り、区政に反映させる機会として実施されている。子ども議員から出された提案が、実際に区政に反映されたかどうかについて、平成26年3月に対応・取組状況の調査を行う予定。



【子ども議員の発言の様子】

【当日の様子】

開会前、子ども議員の中から選出された議長の女性生徒は「本会議を通じて、私たちの提案や思いが区長に伝えるためにも、しっかりと議長を務めたいと思います。」と緊張した面持ちで意気込みを話してくれた。また、他の生徒からは「子ども議員にならなかつたら、ここまで練馬区に関する様々な勉強や課題を考えることはなかつたと思います。とてもいい経験になりました。本会議も堂々と発表したいです。」と話してくれた。

午後2時、子ども議会が開会。発言テーマは、「防災資源の周知について」「放課後の子供の居場所づくりについて」など全10テーマあり、自分たちの地域で安全・安心に生活するための課題や、生活に密着した発言が多くあった。

子ども議員からは、現在、子どもたちの体力低下が問題となっていることへの対策として「たくさん体を動かすことのできる遊具・公園づくりを」という提案があった。この提案に対して、志村区長は「現在、みどりの中で自然体験や自由な遊びができる『(仮称)こどもの森』の整備に取り組んでおり、平成27年度の開設をめざしていきたい」と答弁した。

また、区の医療体制の確立を補強するために、東京消防庁救急相談センターの電話番号(＃7119)をより広く周知するよう提案。続けて「自分たちも、生徒会新聞の発行や、学校での報告会で周知する」という発言があり、室地健康福祉事業本部長は「中学生の皆さんが、救急医療の現状について熱心に考え、自分たちでも生徒会活動などにおいて＃7119の周知を行うと決めたことを区では、大変心強く思う」と答弁した。この他、中学生ならではの視点から様々な発言があり、区長をはじめとする区幹部職員の答弁に子ども議員は熱心に聞き入っていた。

【練馬子ども議会とは】

「練馬子ども議会」は、21世紀幕開け事業の一つとして、平成13年8月1日に区内在住の小・中学生が参加して初めて行われた。子どもらしい視点からの質問や意見を区が聴取する機会として、平成16年からは毎年開催されており、今年で11回目。提案された内容が、実際に区政に反映された事例としては「震災時などにはデマや噂に惑わされないよう、普段から注意喚起をしてほしい」という提案に対して、区のサービス、各種手続きなどを一冊にまとめた『わたしの便利帳』に「正しい情報を手に入れましょう」という見出しの記事を、平成23年度の全面改訂時に新たに掲載した例がある。

【問い合わせ】 青少年課 育成支援係 電話 03-5984-1292